

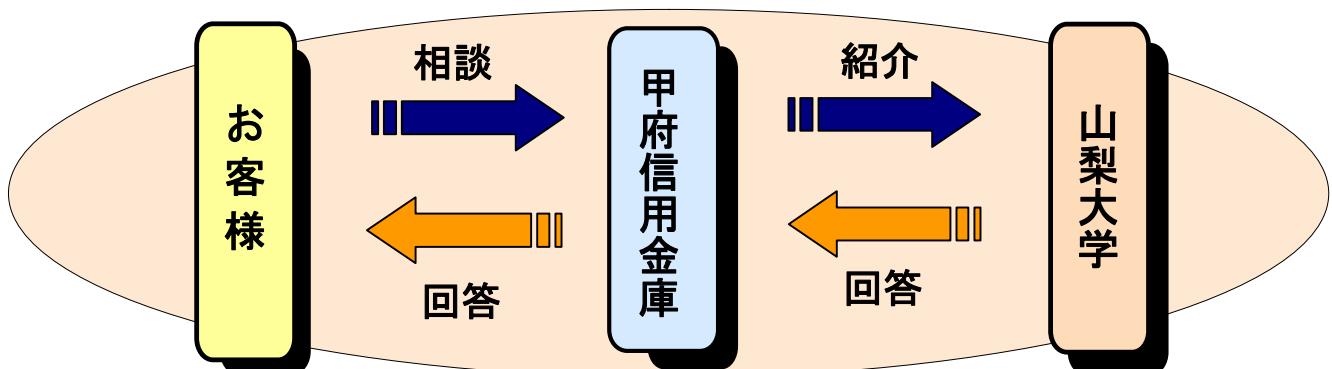
《甲府しんきん・産学官連携》 商品開発をお手伝いします

甲府信用金庫では、山梨大学と協定を結び、『山梨大学客員社会連携コーディネータ』として、技術的な側面で山梨大学と企業の皆様との橋渡しを行っています。

こんなお悩みありませんか？

- 今ある商品・製品を改良したい。
- 新商品を開発しているが、どうしても失敗してしまう。
- 技術の知恵を借りて、問題を乗り越えたい。
- 新産業に参入したいが、今の技術では参入が難しく、
自社単独での研究開発は難しい。 ……など

このようなお客さまの悩みにお応えするため、山梨大学の技術をご紹介します、企業の皆様をサポートします。



～ まずは、お気軽にご相談ください ～

<お問合せ先> 甲府信用金庫 営業統括部 お客様相談窓口
TEL:0120-512-038

相談事例(その1)

【きっかけ】

①

取引先A社は、開発生産している〇〇製品のバージョンアップを検討していたが、**〇〇技術の性能UP**について良い手段が見つからず、甲府信用金庫に相談した。



【結果・成果】

③

研究者から、研究テーマとして改善の手段が考えられるとの返事があり、A社との共同研究に発展できる可能性が十分であると判断。甲府信用金庫が仲介しながら、山梨大学と取引先A社にて共同研究の準備を進めており、**製品のバージョンアップ化への近道**となった。

【段取り・プロセス】

②

甲府信用金庫と取引先A社とで、何回か打ち合わせを行い、これまでの経緯と課題を整理したうえで、甲府信用金庫が山梨大学へ相談。山梨大学と打合せを行い、技術に適用する**山梨大学研究者を紹介され、取引先A社と面談した。**

【ポイント】

④

甲府信用金庫と取引先A社との信頼関係のもと、**甲府信用金庫が取引先A社をバックアップ**するとともに、山梨大学に迅速につないだ結果、取引先A社においても、**不安事項なく安心して開発を進めることができた。**



相談事例(その2)

【きっかけ】

①

山梨大学客員社会連携コーディネータである甲府信用金庫が、山梨大学より情報提供されている『個別技術相談会』のチラシを取引先B社へ紹介したところ、ちょうど**新産業への参入**を検討していたため、さらに詳しく内容を知りたいとの返事があった。



【結果・成果】

③

山梨大学コーディネータが技術内容を整理したところ、**新産業への参入のポイントが浮かび上がった**ので、山梨大学研究者と取引先B社との面談が実現し、その結果、取引先B社から渡されたサンプル材料を山梨大学研究者がテスト評価することとなり、**新産業への見通しができた。**

【段取り・プロセス】

②

甲府信用金庫は取引先B社の事業情報を山梨大学に紹介し、詳しい相談内容について説明したところ、甲府信用金庫が仲介に入り、**山梨大学と取引先B社との面談が実現した。**

【ポイント】

④

甲府信用金庫が仲介に入り、取引先B社と山梨大学との間で、繰り返し打合せを行い、3者のコミュニケーションを密にとったことから、**お互い理解し納得した上で話を進めることができた。**

